

**(公社) 日本地すべり学会関東支部 災害調査 開催報告**  
**—平成 29 年 10 月台風 21 号災害 群馬県高崎市吉井町日向地区—**

### 1. 実施概要

関東支部は、群馬県環境森林部と「災害時における調査の相互協力に関する協定」を締結しており、この協定に基づき、平成 29 年 10 月台風 21 号に伴う豪雨により発生した地すべり箇所の災害調査を実施しました。以下にその報告を記載します。

- (1) 実施日：平成 29 年 10 月 25 日（水）
- (2) 実施場所：群馬県高崎市吉井町大字多胡日向地区
- (3) 参加人数：6 名

### 2. 災害調査の内容

本調査は、群馬県環境森林部森林保全課からの災害協定に基づく調査依頼により実施しました。台風 21 号に伴い連続雨量 208mm(10 月 21 日 1 時～10 月 23 日 6 時、雨量観測所：吉井)の降雨があり、地すべりは 23 日 6 時頃に発生しています。

地すべり規模は幅約 75m、長さ約 50m で、頭部には高さ 10m 超の滑落崖を形成し(写真-1)、末端部では高崎市道の隆起を伴う押し出しによる被災が確認されました(写真-2)。地すべり地内には、数mの段差が数段認められ、その下方斜面は山側に傾動している状況が確認されました(写真-3)。

また、調査後に今後の調査内容や近隣住民の避難体制について群馬県及び高崎市に助言を行いました(写真-4)。

### 3. おわりに

協定に基づく災害調査が初めてであったこともあり、支部内での連絡体制等に混乱が生じてしまいました。今後、対応マニュアル等の整備を行っていきたく考えています。最後に、災害調査の機会を与您にいただきました群馬県環境森林部森林保全課の関係各位に感謝いたします。



**写真-1 頭部滑落崖の状況**



**写真-2 末端部の状況**



**写真-3 地すべり地内の段差の状況**



**写真-4 現地での調査結果説明状況**

(関東支部幹事会 小林豊)